

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

公開実用平成 1-116170

⑩ 日本国特許庁(JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報(U) 平 1-116170

⑬ Int. Cl. 4	識別記号	庁内整理番号	⑭ 公開 平成 1 年(1989) 8 月 4 日
B 65 D 77/38		8407-3E	
33/00		C-6833-3E	
33/22		6833-3E	
// B 65 D 81/20		K-6694-3E	審査請求 未請求 請求項の数 1 (全 頁)

⑮ 考案の名称 滅菌用包装袋

⑯ 実 願 昭 63-11095

⑰ 出 願 昭 63(1988) 1 月 29 日

⑱ 考 案 者 藤 村 豊 東京都中央区日本橋馬喰町 1 丁目 4 番 16 号 藤森工業株式会社内

⑲ 出 願 人 藤森工業株式会社 東京都中央区日本橋馬喰町 1 丁目 4 番 16 号

⑳ 代 理 人 弁理士 田 中 宏



明 細 書

1. 考案の名称

滅菌用包装袋

2. 実用新案登録請求の範囲

一端が山形形状を呈するように周縁部を熱接着してなる滅菌用易開封性包装袋において、前記包装袋の山形形状を有する端部側にスポットシール部を設けてなる滅菌用包装袋。

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は易開封性を有する滅菌用包装袋に関し、特に袋内に医療器具などの被滅菌物品を収納しても袋が破損しないようにした易開封性を有する滅菌用包装袋に関する。

(従来技術)

従来、医療用器具、或は器材などの包装に際しては、ポリエステルーポリエチレンの積層フィルムや高密度ポリエチレンなどのフィルムを内面が熱接着性を有するように重ね合せ、その周縁部を熱接着して袋を形成し、この袋内に内容物として



被滅菌物を収納、密封後、γ線によって滅菌したり、或は袋の一部に紙、布織布などの通気性を有する素材を使用し、被滅菌物を収納、密封後エチレンオキサイドガスで滅菌し、使用に当っては周縁部の熱接着部分を開封することが行なわれている。そのため熱接着部分の熱接着強度が余りに強すぎると開封しにくくなり、反面、熱接着部分の熱接着強度が弱すぎると内容物を収納した際に袋が破損し滅菌状態が保てないこととなった。

(解決すべき課題)

本考案は、上記の欠点を解決し、内容物を収納した際に袋が破損することなく、しかも袋自体が易開封性を有するようにした滅菌用包装袋を提供するものである。

(課題を解決すべき手段)

すなわち、本考案は一端が山形形状を呈するように周縁部を熱接着してなる滅菌用易開封性包装袋において、前記包装袋の山形形状を有する端部側にスポットシール部を設けてなる滅菌用易開封性包装袋である。



被滅菌物を収納、密封後、γ線によって滅菌したり、或は袋の一部に紙、布織布などの通気性を有する素材を使用し、被滅菌物を収納、密封後エチレンオキサイドガスで滅菌し、使用に当っては周縁部の熱接着部分を開封することが行なわれている。そのため熱接着部分の熱接着強度が余りに強すぎると開封しにくくなり、反面、熱接着部分の熱接着強度が弱すぎると内容物を収納した際に袋が破損し滅菌状態が保てないこととなった。

(解決すべき課題)

本考案は、上記の欠点を解決し、内容物を収納した際に袋が破損することなく、しかも袋自体が易開封性を有するようにした滅菌用包装袋を提供するものである。

(課題を解決すべき手段)

すなわち、本考案は一端が山形形状を呈するように周縁部を熱接着してなる滅菌用易開封性包装袋において、前記包装袋の山形形状を有する端部側にスポットシール部を設けてなる滅菌用易開封性包装袋である。



本考案における易開封性包装袋とは手で引張ることによって熱接着部分が容易に開封できるような包装袋を云うのであって、袋の熱接着部分に例えば、一方にポリエチレン、他方にポリプロピレンのような異なる合成樹脂を組合せたり、或は延伸フィルムと無延伸フィルムとを組合せたり、或はエチレン-酢酸ビニル共重合体系のような易開封剤を塗布したり、更に熱接着性を有する極薄膜層を有する積層フィルムを使用する等の手段によって達成することができる。

本考案の具体例を図面について説明する。第1図は本考案に係る包装体の平面図であって、易開封性を有するように組合せられた熱接着性を有する包装材でもって、一端に開口端部2、他端に山形形状をなす端部3を形成するようにして、周縁部4を熱接着して易開封性包装袋1を形成する。そして、スポットシールを山形端部3の側で山形端部3の底より約1~5cm程度上部に設けるものであって、余り上部に設けることはデットスペースを大にするため好ましくなく、反面、底部に近いと所



期の目的は達せられず、またスポットシールの間隔は収納する内容物によって異なるが、通常1-3 cm程度である。

本考案に係る包装袋を使用するに当っては、開放端より内容物を収納後、包装袋の一部に紙、布織布などの通気性素材を使用したものにあつては、エチレンオキサイドガスにより滅菌する。また、γ線照射の場合には合成樹脂フィルムよりなる包装袋に内容物を収納後、密封し、これにγ線を照射して滅菌を行う。このようにして滅菌された後開封に当っては、山形端部側を引き剥すことによって、包装袋が易開封性であること、及び端部が山形形状をなしていることによって容易に開封することができる。

(考案の効果)

以上、述べたように、本考案に係る包装袋は易開封性であるに拘らず、スポットシールを設けたことによって内容物を収納しても破袋することなく、また、開封に際しては、包装袋が易開封性包装材で構成されていること及び山形端部をなして



いることによって容易に開封することが出来る。

4. 図面の簡単な説明

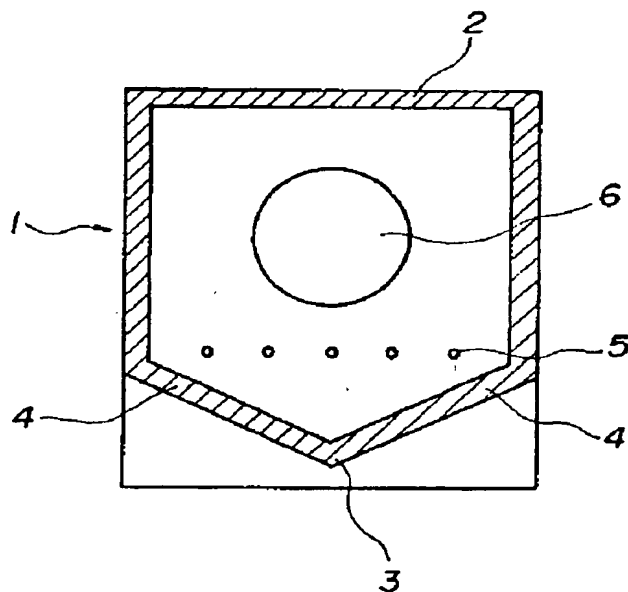
第1図は本考案に係る包装袋の平面図である。

- | | |
|-----------|--------|
| 1…易開封性包装袋 | 2…開放端部 |
| 3…山形端部 | 4…周縁部 |
| 5…スポットシール | 6…内容物 |

出願人 藤森工業株式会社

代理人 弁理士 田 中 宏

第 1 図



836

代理人 田中 宏

実開1-116